

施策分析シート（平成22年度）

No1

施策名	青少年健全育成運動への支援	施策No	10-02	部課名	子育て支援部	児童青少年課
				課長名	古橋 豊	内線 3830
関連部課名	総務企画部総務企画課					
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[]				
	政策	活気ある地域コミュニティの形成[10]				
目的	<p>地域コミュニティ自らが地域の青少年を見守り、育てる活動を継続的に行えるよう、青少年の健全育成や非行防止を図ることを目的として設置されているさまざまな地域団体や諸運動を支援する。</p> <p>青少年の社会参加を促進するとともに、青少年の福祉を阻害するおそれのある行為を防止し、もって青少年の健全育成を図る。</p> <p>すべての区民、関係機関及び団体と連携をとり、荒川区の特色を活かした様々な活動を通して、次代を担う子どもたちが、よりよい環境の中で、心身ともに健やかで人間性豊かに成長できるよう「青少年の健全育成」に取り組む。</p>					
指 標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		19年度	20年度	21年度	22年度	目標値 (28年度)
	社明運動参加者数	26,348	28,638	28,984		28,000
	子どもまつり参加者数	24,723	22,538	21,940		22,000
	非行少年検挙補導数	1,150	1,156	1,166		1,000
現状と課題（指標分析）	<p>青少年対策地区委員会、同連絡協議会、社会を明るくする運動実施委員会、「あらかわの心」推進運動区民委員会等の団体が、町会、学校、警察、民間企業等の関係機関と連携を図りながら、地域に根付いた活動を行っている。</p> <p>こうした諸活動は、参加者も多く、単に青少年健全育成活動の枠をこえて、環境美化活動や地域見守り活動等多面的な展開をみせている。</p> <p>特に、「あらかわの心」推進運動については、あいさつの励行、相手への思いやりといった社会規範や倫理感を醸成させるための区民運動として有意義な試みである。</p> <p>一方、運動を担っている方々が、全体的に高齢化・固定化しているなどの課題もある。</p> <p>他所管との類似の事業もあり、事務移管や事業の再編も検討する必要がある。</p>					
今後の方向性	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>地域の方々が主体となって展開しているこれらの組織体は、地域コミュニティを活性化するうえで重要であり、今後ともこうした活動が、さらに発展するよう支援していく。</p> <p>平成22年3月に策定した「平成22年度・23年度荒川区青少年健全育成基本方針」に基づき、各青少年対策地区委員会、町会、関係機関、団体と連携を取り、青少年健全育成活動を実施していく。</p>					

施策の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	<p>地域の方々が主体となって取り組んでいる青少年対策運動は、長い歴史があり、地域に定着しており、活力ある地域コミュニティを形成するうえで、必要不可欠な施策である。</p> <p>青少年対策のみならず、防災、防犯、防火、環境美化等の面からも大きな役割を果たしており、引き続き、区として支援していく。</p>

